令和5年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	公民	公共	全	2	公共(東京書籍)	テーマ別資料 公共(とうほう) 公共 ワークノート(東京書籍)
学習の到達目標	<p>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付ける。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民主権をなす公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを身に付ける。</p>					
学期	月	単元	学習内容		到達目標	
前期	4月	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	1 青年期と自己形成の課題	1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間 3 伝統・文化のなかの人間	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義や現代の課題について考察する。 ・自由についてのカントの道徳法則と人格、J.S.ミルの自由についての考え方の理解を基に、人間を「個人」として尊重することの意味について多面的・多角的に考察する。 ・現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。 ・生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。 	
			2 自己形成と社会への参画			
		第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	1 功利主義と幸福の原理 2 義務論と公正の原理			
	5月	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	1 公共的な空間における協働とは 2 民主主義とは 3 立憲主義とは 4 人権保障の意義と展開	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 ・これらがなぜ公共空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。 		
			第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加		1 私たちの民主政治 2 地方自治のしくみと役割 3 国会のしくみと役割 4 内閣のしくみと役割 5 政治参加と選挙 6 政党と利益集団 7 メディアと世論	
	7月 9月	第2章 法の働きと私たち テーマ1 法や規範の意義と役割 テーマ2 市民生活と私法	1 法と社会規範の役割 2 法の成立と適用	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。 ・法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題について考察し表現する。 		
			1 市民生活と法 2 多様な契約 3 消費者の権利と責任			
		テーマ3 国民の司法参加	1 司法のしくみと役割 2 刑事司法と司法参加の意義			
	後期	10月	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ1 現代の経済と市場 テーマ2 市場経済における金融の働き	1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ 3 国民所得と経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義や経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。 ・経済のしくみや動向についての基礎的理解を基礎に、経済についての政策や財政、金融に関する政策課題、社会保障にかかわる課題について関心を持って考察し追究する。 	
				1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と金融環境の変化		
11月		テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度	1 財政の働き 2 財政の課題 3 社会保障の考え方 4 社会保障の課題とこれから			
			1 働くということ 2 多様な職業選択	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義社会における労働契約や労働者の権利、労働三法、雇用環境の変化と現代の労働問題などについて、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。 ・現代社会における職業の特性の理解の上に、職業選択を自らの課題として考察する。また、労働と雇用にかかわる諸問題について考察する。 		
12月		第4章 私たちの職業生活 テーマ1 働くことの意義と職業選択 テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題	1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題			
			1 国際社会の成り立ち 2 国際連合の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成り立ちや国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。 ・国際政治や国際経済にかかわる諸課題について多面的・多角的に考察する。 		
1月 2月	テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済	1 現代の紛争とその影響 2 平和な国際社会に向けて				
		1 貿易のしくみ 2 国際金融のしくみと動向 3 グローバル化と今日の国際経済 4 国際経済の諸課題				